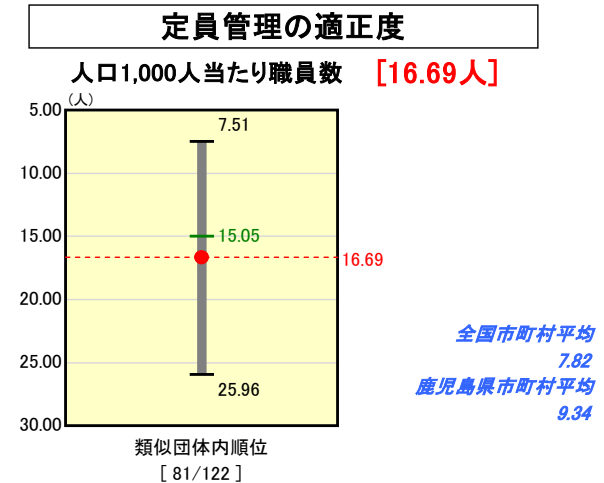
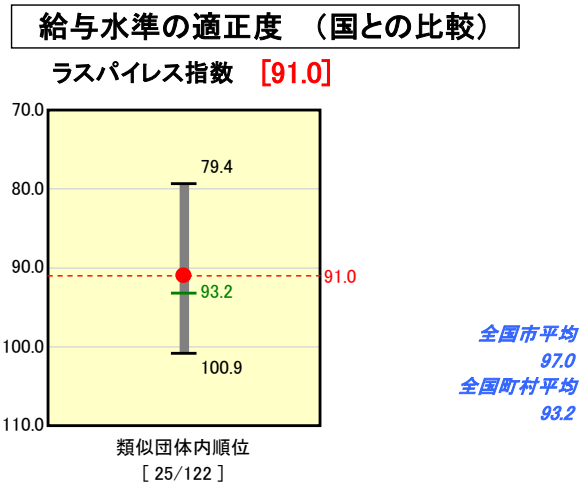
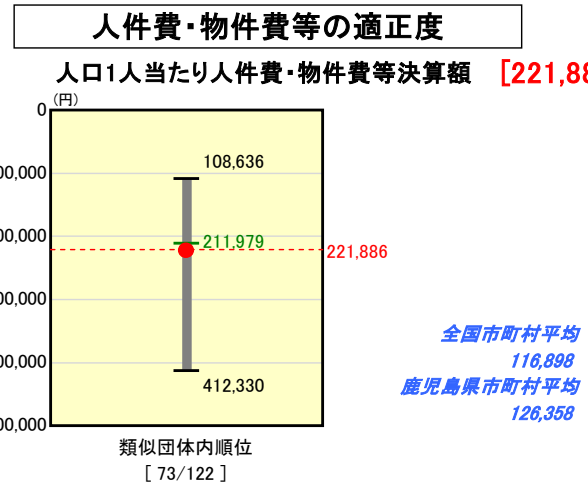
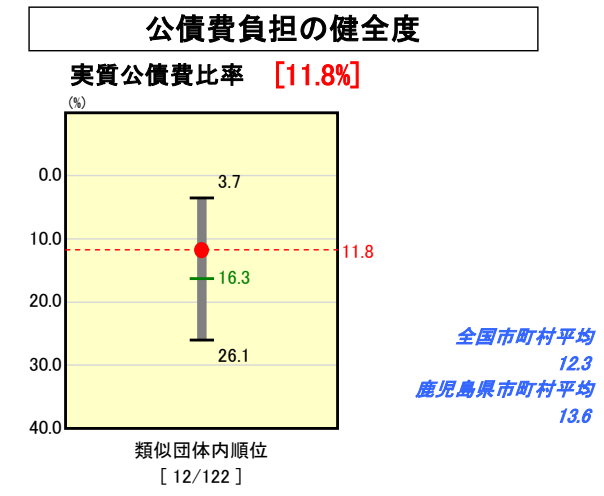
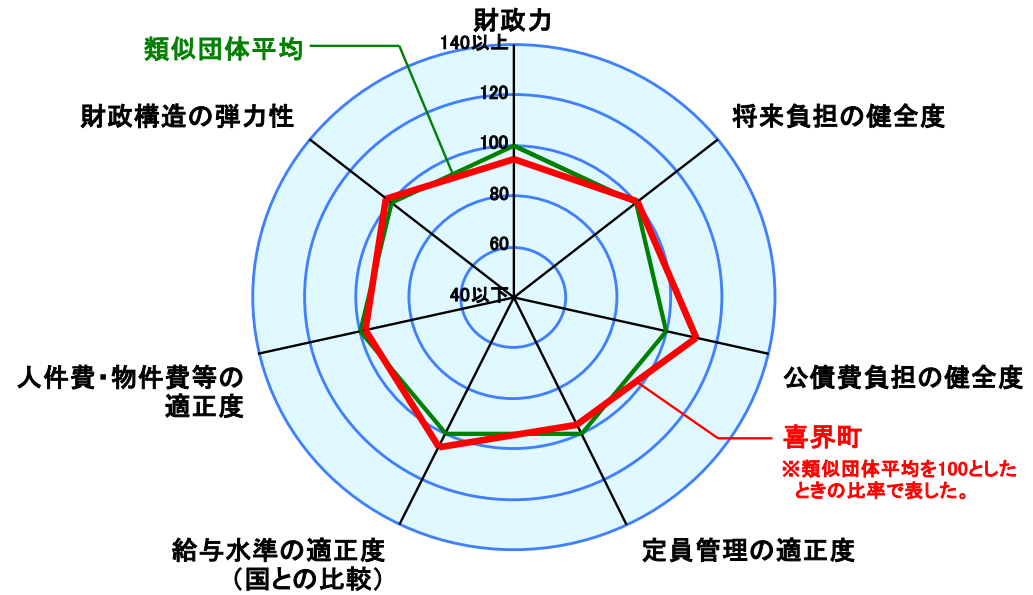
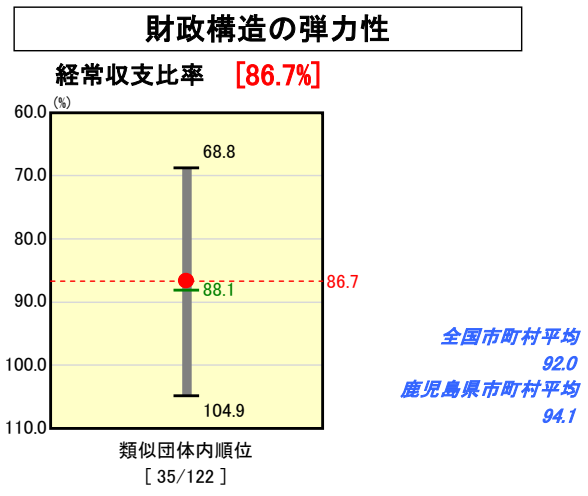
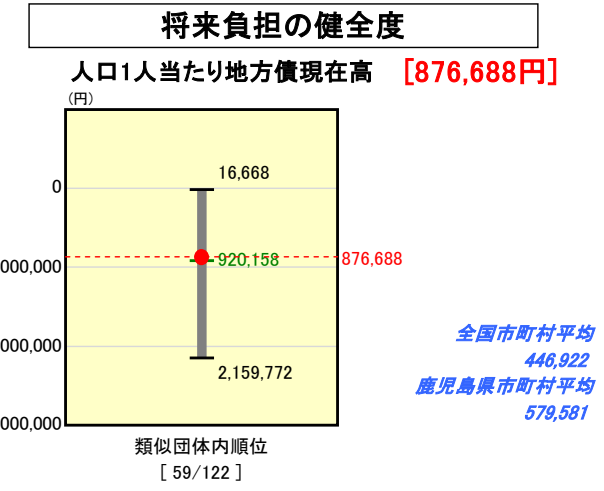
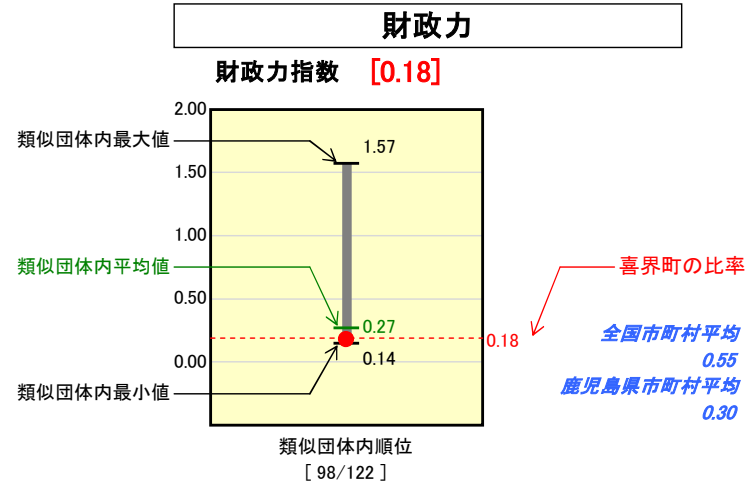


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 喜界町

人口	8,449人	(H20.3.31現在)
面積	56.94	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,529,132	千円
歳出総額	5,363,945	千円
実質収支	115,711	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人あたり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(H21.2月末現在 32.8%)に加え、大型事業所等も少なく財政基盤が弱いため、類似団体平均を下回っている。今後も大幅な税収の増は見込めないため、低い水準ではあるが、現在の水準を維持できるよう税徴収率向上を中心に歳入の確保に努める。

**経常収支比率:** 類似団体平均を下回ってはいるが、今後も経常経費の節減に努め、現在の水準を維持する。

**ラスパイレス指数:** 給与の適正化に努めることにより類似団体平均を下回っている。今後も現在の水準を維持する。

**人口1人あたり地方債現在高:** 現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後も喜界町総合振興計画を点検しながら進め、財政の健全化に努める。

**実質公債費比率:** 喜界町総合振興計画に基づいた計画的な事業実施により、類似団体平均を下回っている。今後、下水道事業の起債償還額の増が予想されるが、町債発行額の上限設定等により類似団体平均を上回らないよう新規発行の抑制に努めていく。

**人口1,000人あたり職員数:** 一島一町で、福祉事業、塵芥処理事業等全てのサービスを完結させなければならないため、類似団体平均を上回っている。住民サービスを低下させることなく、行革大綱、集中改革プランに沿った見直しを継続し、退職者の不補充や民営化等により適正な定員管理に努める。